

宮崎大学研究・産学地域連携推進機構 テニュアトラック推進室  
2026年度採用 テニュアトラック教員公募

国立大学法人 宮崎大学  
学長 鮫島 浩

募集案内

● 概要

宮崎大学研究・産学地域連携推進機構テニュアトラック推進室は、将来、本学の基盤的で重点的な教育研究分野において、教育と研究を牽引するリーダーとなる若手人材を採用し育成していく組織です。将来有望な若手研究者を採用し、5年のテニュアトラック期間で本学の将来を担うリーダーを育成します。採用されたテニュアトラック教員には、研究費と独立して研究できる環境が確保されています。5年目のテニュア審査においてテニュアの資格が認められた場合、関連する部局のテニュア職(任期の定めがない職・原則として准教授)に就くことができます。

本学テニュアトラック推進室は、このたび以下の教育研究分野で新たにテニュアトラック教員1名を募集することとなりました。以下の公募要領をお読みの上、ぜひご応募くださいますようお願いいたします。

なお、本学での男女共同参画推進事業の実施を踏まえ、女性の積極的な応募をお待ちしています。

参考ホームページ：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ttkikou/overview/>

● 公募要領

1 募集分野及び職位

以下の2つの分野を公募し、いずれか1名のテニュアトラック教員を採用します。

(1) 募集分野

【公募A】 教育学系 教育工学分野

近年、ICTや生成AIの活用等により教育環境が高度化する中、教育の質的転換を支える教育工学分野の重要性は一層高まっている。本件は、教育工学分野における研究・教育体制の充実を図るとともに、理論と実践を往還しながら教育課題の解決に取り組む若手研究者を求めるものである。

【公募B】 人文科学系 心理学分野

宮崎県教育委員会をはじめとする関係機関から、不登校、いじめ、いのちの教育といった学校教育における課題に対する心理的支援への要望が寄せられている。本人事は、こうした要望に応えるとともに、令和9年度から開始予定の公認心理師養成に貢献できる若手研究者を求めるものである。

(2) 職位 (公募A・Bいずれも)

テニュアトラック助教、テニュアトラック講師 (研究実績による)

2 応募資格

(1) 原則として博士号取得後10年以内の研究歴を有し、当該分野に関連した研究に従事しているか、

またはその経験を有する若手研究者で、自立して研究を行う能力を有し、独創的かつ革新的な研究を推進する強い意欲を持つとともに、部局のテニユア職に着任後、学部学生及び大学院生の教育に情熱を有する者。

なお、出産又は育児により、合計3か月以上の間、研究を中断した者（性別を問わない）については、個別の事情に応じ、1～2年程度、博士号取得後年数の要件について配慮する。

また、【公募B】に関しては、公認心理師の資格を有するか、着任後2年以内に取得の見込みである者。

- (2) 外国籍研究者がテニユア審査で本学の教員として採用されることになった場合は、学部教育を本格的に担当することになるため、テニユアトラック教員としての在籍期間中に、日本語でのコミュニケーション能力が身につくようトレーニングすることが求められます。

### 3 研究費、研究環境及び研究支援体制

採用されたテニユアトラック教員が独立して研究することを可能にするため、以下のような研究費、研究環境及び研究支援体制が提供されます。

#### (1) 研究費

初年度は、採用時に配分されるスタートアップ経費120万円+研究費80万円（年度途中で採用された場合の研究費配分は、80万円を満額とする四半期単位）。2～4年度目80万円/年、5年度目55万円/年。6年度目は、80万円-採用年度の研究費。ただし上限55万円。

#### (2) 研究環境

- (a) テニユアトラック期間中は研究・産学地域連携推進機構テニユアトラック推進室に所属します。
- (b) 研究へのエフォートは60%以上が保証されます。
- (c) 独立した研究スペースを措置し、研究室は教育学部内に設置します。
- (d) コーディネーター及びトロイカサポーター（学内教員2名及び学外研究者1名）による支援を行います。

#### (3) 教育への関与

採用2年目以降は、教育経験を積むために学部あるいは大学院での授業を担当していただきます。指導を希望する修士課程学生がいる場合は、当該研究科と相談の上、学生を配属させて研究を指導することも可能です。

#### (4) 管理業務への関与

管理運営業務は原則として担当しません。

#### (5) 研究支援

- (a) 出産などのライフイベントがあった場合、各種支援措置を受けることができます。主な支援内容

は、①産前休業・産後休業の利用、②子女の学内保育所への入園（空きがない場合は他を紹介しします。）、③搾乳室の利用、④育児休業等の利用等です。⑤出産・育児・介護などで研究時間が確保できない研究者は、清花アテナDEI推進室を通じて研究補助を行うAthenaリサーチアシスタントを雇用できます（申請して採択された場合）。

詳細は清花アテナDEI推進室ホームページを参照ください。

URL: [https://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/r\\_career\\_2/](https://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/r_career_2/)

※育児休業や介護休業を長期間利用して研究に遅滞が生じたときは、テニユア審査の時期を延伸することも可能です。

- (b) 外国籍であるなど日本語がネイティブでない研究者に対しては、テニユアトラック推進オフィス及び国際連携センターが支援します。本学では外国籍研究者及びその家族で希望する者に対して日本語の日常会話の指導を行っており、当該講座を受講することができます。

#### 4 雇用条件

##### (1) 給与等

任期中の給与は年俸制により支給します。文部科学省共済組合(健康保険・厚生年金等)、雇用保険、労災保険に加入していただきます。

なお、テニユア職に採用後の給与体系には本学の業績連動給与制が適用されます。

##### (2) 雇用期間

採用日から5年間

##### (3) 業績評価

任期3年目の半ばで研究の進捗状況等についての中間評価を行います。また、5年目の後半にテニユア審査を行い、到達目標の達成度や研究業績等を評価し、テニユア資格の有無を判定します。テニユア審査において、「テニユアトラック期間中に優れた業績を上げ、本学の教員としてふさわしい。」と判定された者は、関連する部局の審査を経てテニユア職として採用します。

また、3年目の中間評価において、極めて優れた業績を上げ、既に本学の教員としてふさわしいと判定された場合には、4年目にテニユア職に採用することもあります。テニユアポストは関連する部局で確保されています。

##### (4) 中間評価及びテニユア審査の項目（本学が定める「審査基準」より）

中間評価項目：

- (a) 自己評価（採用時に掲げた到達目標の達成に向けた進捗状況等に対する自己評価）
- (b) 研究業績（着任後に行った研究の成果であることが明記された著書、論文等）
- (c) 研究の自立性（学会発表や論文等の発表状況、外部資金の獲得状況、受賞歴、等）
- (d) リーダーシップ（学内外の研究ネットワークの構築やセミナー等の企画・運営、等）
- (e) その他特筆すべき事項（社会貢献に関わる活動や学生の研究指導・教育力等）

(f) 今後の計画

テニユア審査項目： ※(a)～(d)は、上記(a)～(d)に対する中間評価後の進捗・改善状況

(e) 学生の研究指導・教育力（指導学生の学会発表や学術論文の有無、等）

(f) その他特筆すべき事項（社会貢献に関わる活動等）

(g) 将来への展望（5年間の実績を踏まえて、今後の本学での研究・教育における展望（本学の発展にどう貢献できるかの展望を含む））

## 5 応募書類

日本語又は英語の様式をダウンロード(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ttkikou/>)し、必要事項を記入してください。

- (1) 応募申請書
- (2) 業績リスト(著書、論文（学術論文、総説、紀要等）、学会発表、その他(社会貢献、教育業績等))
- (3) 獲得した外部研究費（科学研究費補助金等）、受賞（学会賞等）、特許等のリスト
- (4) これまでの研究概要（A4 2ページ以内）
- (5) 本学における研究計画および5年後の到達目標（A4 2ページ以内）
- (6) 主要業績論文別刷（5編以内）
- (7) 推薦状（2名分、様式は任意、A4サイズ1ページ以内） ※推薦者が作成してください

※記載様式：上記提出書類（(6)を除く）は、ダウンロードした様式に10.5ポイントの文字で記載し、  
図などを含めできるだけ平易に記述してください。

## 6 応募方法

- (1) 応募者は「前項 5 提出書類」の(1)～(5)を記載した書類及び(6)をPDFファイルにして電子メールに添付し、下記提出先のE-mailアドレスにお送りください。その際、電子メールの件名に「2026年度テニユアトラック教員応募」と明記してください。ファイルを受け取り次第、受理したことを連絡します。送信後7日以内にこちらの電子メールの受理通知が届かない場合はお問い合わせください。
- (2) 「提出書類」前項(7)の推薦状は、推薦者自身が宮崎大学テニユアトラック推進オフィスへ電子メールで送付してください。すべての書類を受理後7日以内に受理通知を電子メールで送ります。
- (3) 応募に関する個人情報、個人情報保護法ならびに本学規定に基づいて適切に取り扱いますが、選考上必要な範囲において照会等を行う場合がありますので、ご了承の上応募してください。なお、選考に関する連絡は原則として電子メールで行います。また、面接審査にかかる旅費等は応募者の負担とします。

## 7 選考スケジュール

### (1) 応募締切

電子メールによる書類(1)～(7)の提出：2026年7月31日（金）午後5時（日本時間）

### (2) 一次選考：2026年 9月 書面審査

### (3) 二次選考：2026年10月1日（木）面接審査

### (4) 最終決定：2026年10月下旬

### (5) 着任時期：2026年12月1日（火）以降のなるべく早い時期（2026年度内）

## 8 その他の重要な留意事項

応募にあたって、性別及び国籍は問いませんが、本学は男女共同参画を推進する立場から、選考審査の際に評価が同程度の場合は、女性研究者を優先的に採用することとしています。

## 9 提出先及び問い合わせ先（問い合わせは原則として電子メールでお願いします。）

宮崎大学研究・産学地域連携推進機構 テニユアトラック推進室

住所：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1

TEL: 0985-58-7859

E-mail: [ttooffice@miyazaki-u.ac.jp](mailto:ttooffice@miyazaki-u.ac.jp)

※問い合わせへの回答は平日のみとなります。土曜日、日曜日、祝休日の回答はできませんので、ご了承ください。

【テニユアトラック推進室のホームページ】

URL: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/ttkikou/>

